

平成 22 年度 八戸市健康福祉審議会 健康・保健部会

日時 平成 23 年 2 月 2 日（水）

午後 1 時 30 分～3 時

場所 八戸市庁別館 2 階会議室 B

次 第

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 議事

(1) 「健康はちのへ 2 1」計画進捗状況について

(2) 意見交換

委員又は所属団体として、「健康はちのへ 2 1」計画推進のために実施していること、できそうなこと

(3) その他

4. 閉会

「健康はちのへ21」計画 進捗状況

「健康はちのへ21」計画 領域別目標の達成状況

スタート時より悪化したもの

項目		スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法		
1 栄養・食生活	肥満の割合	1歳6か月児健康診査	3.4%	2.6%	3.5%	減少	1歳6か月児健診	
		3歳児健康診査	2.5%	1.3%	2.4%	減少	3歳児健診	
		児童・生徒	17.5%	16.5%	11.7%	15%以下	教育委員会(21年から判定方法の変更)	
		成人男性	33.3%	33.1%	31.2%	20%以下	基本健康診査→20年度特定健診	
	成人女性	32.4%	33.1%	28.2%	20%以下	基本健康診査→20年度特定健診		
	1日の塩分摂取量	12.4g	11.5g	10g未満	10g未満	基本健康診査→20年度特定健診		
	1日の野菜摂取量	255.8g	243.1g	350g以上	350g以上	県民栄養調査		
	母乳栄養の割合	30.2%	32.8%	37.4%	40%以上	基本健康診査→県民栄養調査		
	朝食を欠食する人の割合	子ども(幼児・小中学生) 20~30代男性	—	1.2%	—	0%	15%以下	19年度八戸市食育アンケート
	食事バランスガイド等を参考にしている者の割合	成人(現状値は食事バランスガイドのみでの調査結果)	—	17.5%	—	60%以上	19年度八戸市食育アンケート	
アレルギーフリーゾーンを認知している人の割合	—	—	78.0%	—	80%以上	19年度八戸市食育アンケート		

- ・肥満の割合をスタート時と比較すると、1歳6か月児では0.1ポイント増加しているものの全体的には減少している。
- ・1日の野菜摂取量は目標値よりかなり少ない。
- ・母乳栄養の割合は増加している。

項目		スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法		
2 身体活動・運動	幼児と一緒に遊ぶ親の割合(3歳児健診時)	父	91.4%	89.7%	96.0%	100%	3歳児健康診査	
		母	92.3%	95.1%	98.9%	100%		
	授業開始前や休み時間に運動の時間を設けている小学校の割合	—	51.2%	85.4%	89.6%	90%以上	学校教育課調査	
	運動習慣のある人の割合	男性	—	50.2%	50.3%	44.4%	60%以上	国民栄養調査→15年度基本健康診査→20年度特定健診
		女性	—	37.3%	38.2%	34.5%	40%以上	
一日の平均歩数	—	7,307歩	7,438歩	—	8,000歩以上	青森県民健康度調査		

- ・運動習慣のある人の割合は、調査方法がスタート時と変わっているが男女共に減少傾向にある。

項目		スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法	
3 こころの健康づくり	子育てに困難を感じる人の割合	股関節脱臼検診(3~4か月)	29.4%	11.3%	19.4%	—	子ども虐待予防市民ネットワーク調査→16年度健診
		1歳6か月児健康診査	46.0%	31.0%	26.2%	減少	
		3歳児健康診査	25.0%	25.1%	30.1%	—	
	いのちをはぐむアドバイザー事業の割合	中学校	100.0%	100.0%	100.0%	継続	学校教育課調査
	スクールカウンセラー配置の割合	中学校	22.7%	54.5%	57.7%	100%	—
	ストレスを感じている人の割合	男性	—	70.5%	—	減少	19年度市民アンケート
		女性	—	77.5%	—	減少	
	不眠を感じている人の割合	男性	—	23.0%	—	減少	19年度市民アンケート
女性		—	20.6%	—	減少		
こころの健康に関する健康教育の回数	—	—	116回	105回	増加	健康増進課調査	
自殺死亡数	—	(13年) 52人	(17年) 62人	(20年) 67人	減少	青森県保健統計年報	

- ・子育てに困難を感じる人の割合をみると3~4か月児・1歳6か月児では減少しているが、3歳児ではスタート時より5.1ポイント増加している。
- ・自殺死亡数は増加傾向にある。

項目		スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法	
4 たばこ	妊娠届出時、妊婦が喫煙している割合	14.2%	7.3%	6.6%	0%	健康増進課調査(妊婦連絡票)	
	未成年者の喫煙割合(八戸保健所管内)	小学生	0.4%	(19年度) 0.13%	—	0%	保健所喫煙防止教室アンケート→19年度県調査
		中学生	2.5%	1年 0.33%	—	0%	
		高校生	7.5%	3年 1.31%	—	0%	
	成人の喫煙割合	男性	57.5%	49.7%	46.9%	25%以下	基本健康診査→20年度特定健診
		女性	12.6%	12.6%	13.7%	5%以下	基本健康診査→20年度特定健診
公共施設等受動喫煙防止対策実施数	市施設	—	(19年度) 222施設	235施設	—	健康増進課調査	
	青森県空気がクリーン施設 登録施設	—	117施設	(21年2月) 199施設	増加		八戸保健所調査

- ・成人男性の喫煙割合は年々減少し、スタート時より10.6ポイント減少している一方、成人女性の喫煙割合は1.1ポイント増加している。
- ・青森県空気がクリーン施設登録施設は増加している。

項目		スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法	
5 アルコール	妊娠届出時、妊婦が飲酒している割合	時々・毎日	12.5%	10.2%	5.1%	0%	健康増進課調査(妊婦連絡票)
		中学3年生 男子	25.4%	(19年度) 男女	—	0%	
	未成年者の飲酒割合(月1回以上飲酒)	女子(国)	17.2%	6.6%	—	0%	未成年者の飲酒行動に関する全国調査→19年度県調査
		高校3年生 男子	51.5%	男女	—	0%	
成人の多量飲酒者割合	男性	11.8%	11.60%	7.2%	8.3%以下	基本健康診査→20年度特定健診	
	女性	0.7%	0.8%	1.0%	0.4%以下		

- ・成人男性の3合以上の多量飲酒者割合は年々減少しているが、女性は増加している。

スタート時より悪化したもの

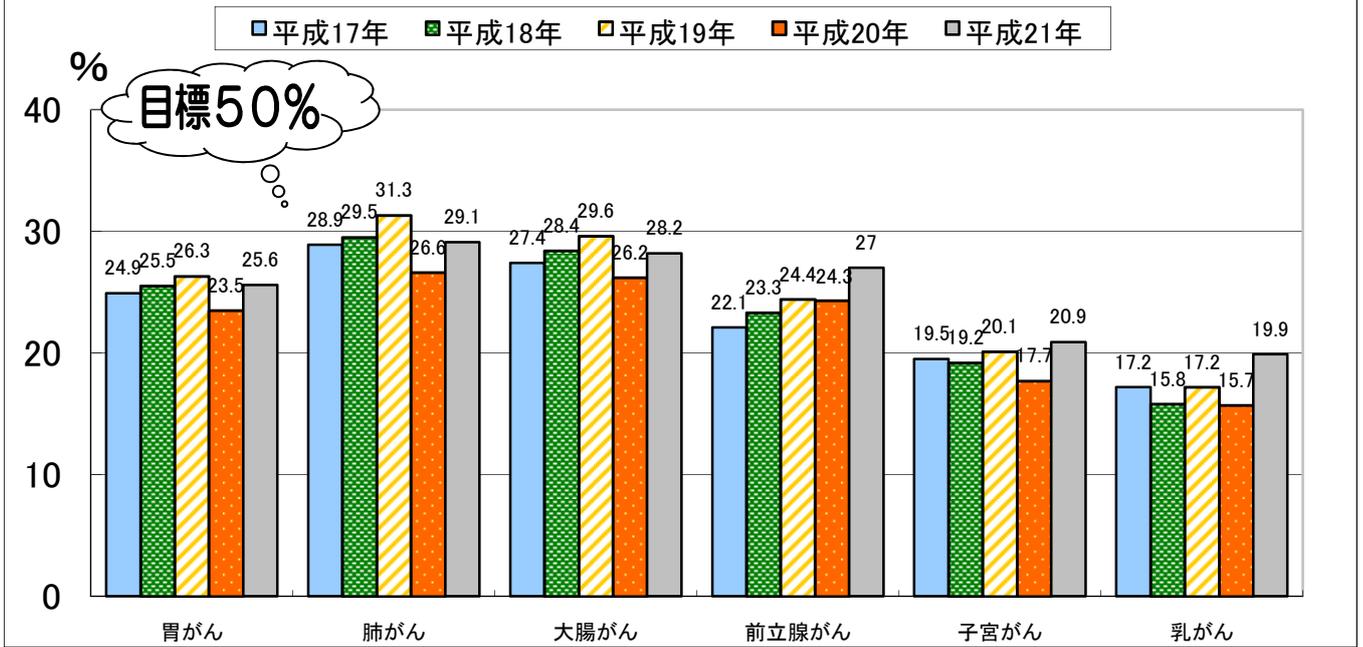
項目	スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法	
むし歯のない幼児の割合	1歳6か月児健康診査	95.3%	95.7%	96.9%	96%以上	1歳6か月児健康診査
	3歳児健康診査	56.1%	60.2%	70.1%	70%以上	
一人当たりのむし歯本数	1歳6か月児健康診査	0.14本	0.14本	0.09本	0.12本以下	1歳6か月児健康診査
	3歳児健康診査	2.1本	1.68本	1.09本	1.8本以下	
むし歯のない児童生徒の割合	小学生男子	18.0%	23.1%	26.6%	30%以上	学校教育課調査
	女子	19.4%	25.6%	30.2%		
	中学生男子	34.3%	39.7%	42.0%	45%以上	
	女子	27.6%	34.8%	35.2%		
	高校生男子	18.3%	24.8%	33.6%	30%以上	
	女子	9.5%	19.0%	29.9%		
一人当たりのむし歯本数	12歳児	1.5本	1.73本	1.1本	1本以下	
間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する幼児の割合	1歳6か月児健康診査	37.7%	31.7%	32.2%	20%以下	1歳6か月児健康診査
	3歳児健康診査	44.0%	35.2%	34.3%		
間食の時間を決めている幼児の割合	1歳6か月児健康診査	59.1%	63.7%	78.2%	80%以上	1歳6か月児健康診査
	3歳児健康診査	64.9%	64.5%	75.7%		
フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合	3歳児健康診査	28.8%	34.5%	38.2%	50%以上	3歳児健康診査
歯に関する健康教育の実施校の割合	小学校	97.7%	90.0%	100.0%	100%	学校教育課調査
	中学校	63.6%	90.9%	76.9%	95%以上	
昼食後の歯磨き実施校	小学校	67.4%	100.0%	100.0%	100%	学校教育課調査
	中学校	45.5%	81.8%	80.8%	85%以上	
60歳で24歯以上、80歳で20歯有する人の割合	60歳	31.9%	35.5%	34.1%	20%以上	県歯科医師会→15年度基本健診→ 20年度特定・後期高齢者健診
	80歳	7.4%	13.0%	11.0%	10%以上	
歯周疾患検診受診率・受診率	全体	3.5%	0.2%	0.4%	15%以上	歯周疾患検診
	40歳	3.7%	0.4%	0.8%		
	50歳	3.3%	0.4%	0.4%		

- ・むし歯のない幼児・児童・生徒は増加している。
- ・小学校では、「歯に関する健康教育」や「昼食後の歯磨き」を全校で実施している。
- ・歯周疾患検診受診率は減少している。

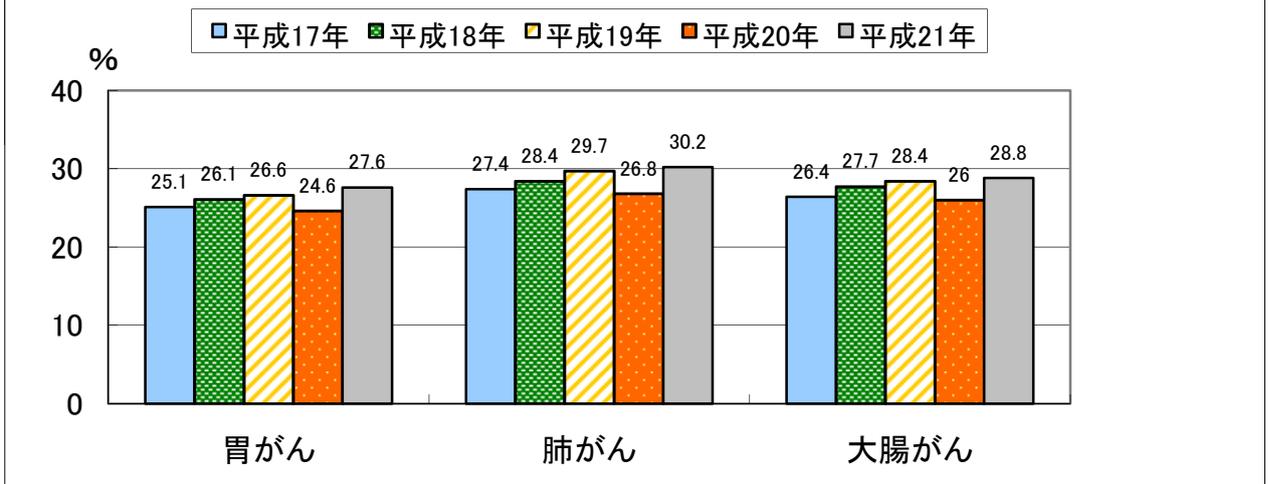
項目	スタート時 (14年度)	中間実績値 (18年度)	21年度	目標値	調査方法		
特定健康診査受診率	—	(20年度) 23.9%	29.5%	65%以上	国保特定健康診査		
特定保健指導を受けた人の割合	—	(20年度) 26.8%	36.6%	45%以上			
メタリックシンドロームの該当者・予備群の割合	男性	—	(20年度) 40.2%	39.7%		現状より10% の減	
	女性	—	16.3%	15.6%			
正常血圧者の割合	男性	—	(20年度) 59.4%	53.3%		増加	
	女性	—	61.0%	61.7%			
糖尿病検査(尿糖・血糖・HbA1c)異常者の割合	男性	—	() 18.5%	19.8%		減少	
	女性	—	10.0%	11.3%			
HDLコレステロール異常者の割合	男性	—	() 3.2%	3.2%		減少	
	女性	—	0.6%	0.7%			
LDLコレステロール異常者の割合	男性	—	() 21.4%	21.2%		減少	
	女性	—	29.8%	27.1%			
中性脂肪異常者の割合	男性	—	() 2.0%	2.5%		減少	
	女性	—	0.5%	0.4%			
循環器病精密検査受診率(特定健康診査)	72.2%	70.1%	61.5%	80%以上			
糖尿病検査精密検査受診率	尿糖	53.0%	30.2%	39.9%		75%以上	
	血糖	75.4%	33.6%	45.2%		90%以上	
	HbA1c	78.7%	42.0%	53.9%		90%以上	
がん検診受診率	胃がん	23.2%	25.4%	25.6%		50%以上	がん検診
	肺がん	22.1%	29.5%	29.1%		50%以上	
	大腸がん	24.2%	28.2%	28.2%	50%以上		
	子宮がん	16.9%	19.2%	20.9%	50%以上		
	乳がん	16.1%	15.8%	19.9%	50%以上		
	前立腺がん	15.9%	23.3%	27.0%	50%以上		
がん検診精密検査受診率	胃がん	77.3%	77.5%	73.4%	100%		
	肺がん	82.2%	88.3%	91.6%	100%		
	大腸がん	64.9%	70.1%	70.8%	100%		
	子宮がん	89.6%	80.0%	76.2%	100%		
	乳がん	87.1%	79.1%	89.3%	100%		
	前立腺がん	59.4%	55.2%	60.5%	100%		
乳がんの自己検診実施率	—	65.9%	62.6%	80%以上	健診センター調査		
脳血管疾患による年間死亡者数	—	(17年) 337人	(20年) 273人	減少	青森県保健統計年報		
糖尿病による年間死亡者数	—	() 32人	() 43人	減少			
がんによる年間死亡者数	—	() 571人	() 669人	減少			
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養・食生活 : 肥満の割合、1日の塩分・野菜摂取量、食事バランスガイド等を参考にしている者の割合、メタリックシンドロームを認知している者の割合 ・身体活動・運動 : 運動習慣のある人の割合 ・たばこ : 成人の喫煙割合 ・アルコール : 成人の多量飲酒者割合 							

- ・特定健診受診率と特定保健指導を受けた人は目標に近く、精密検査受診率も減少している。
- ・メタリックシンドロームの該当者・予備群の割合は、男性が女性の2倍強。血圧・糖尿病検査・脂質異常者の割合は増加している。
- ・全てのがん検診受診率は高くなっているものの目標には達しておらず、特に乳がん・子宮がん検診受診率は低い。また、乳がんの自己検診実施率は減少している。
- ・脳血管疾患による年間死亡者数は減少しているが、糖尿病・がんによる年間死亡者数は増加している。

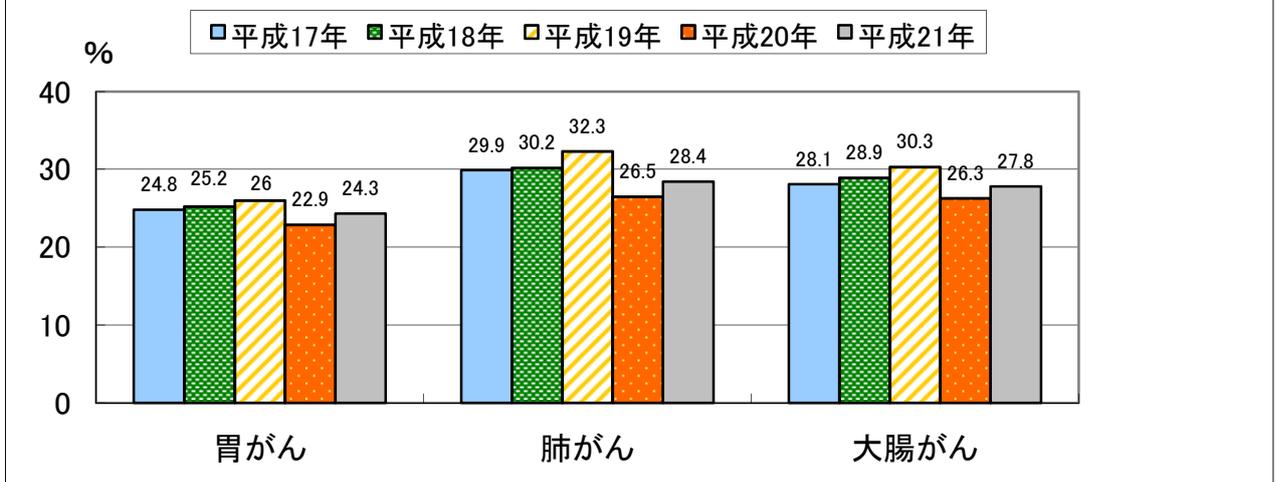
各種がん検診の受診率



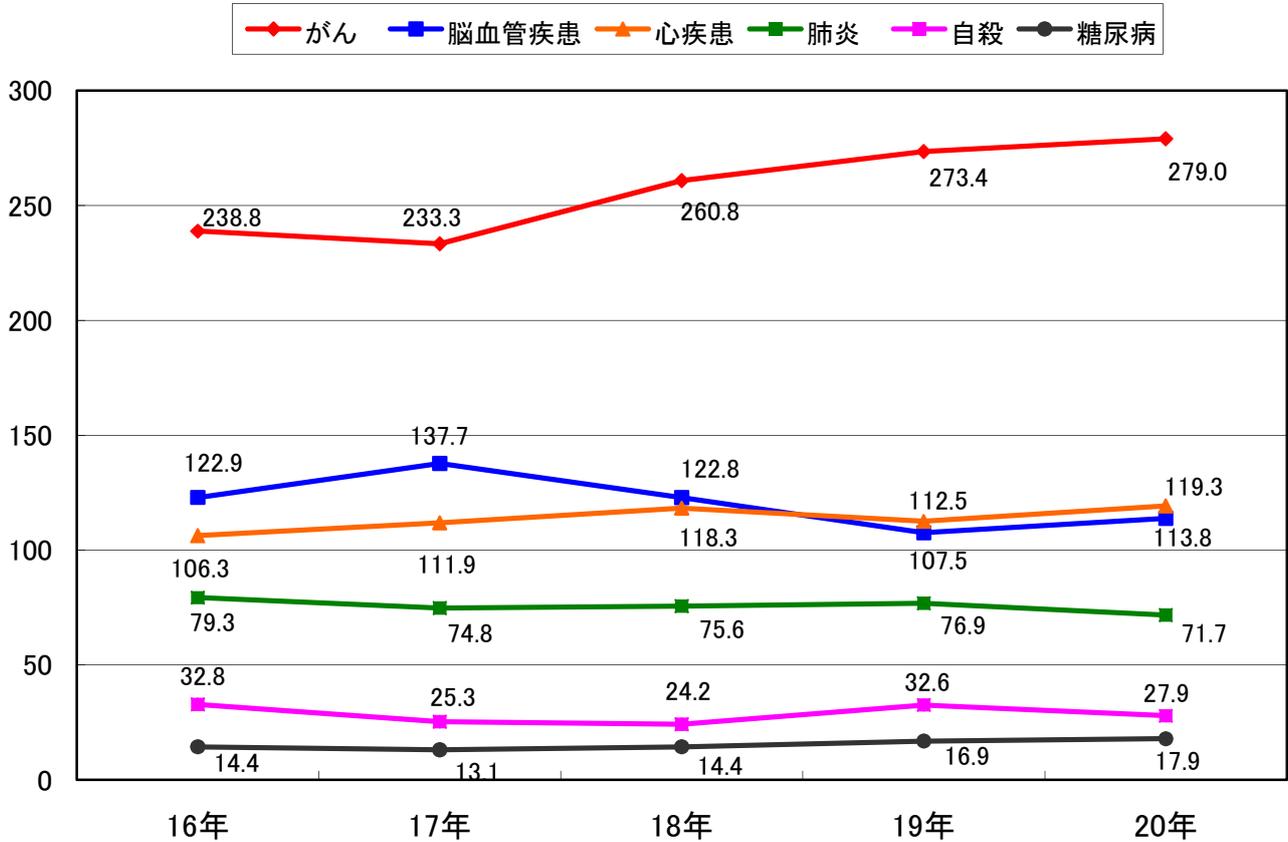
各種がん検診の受診率(男)



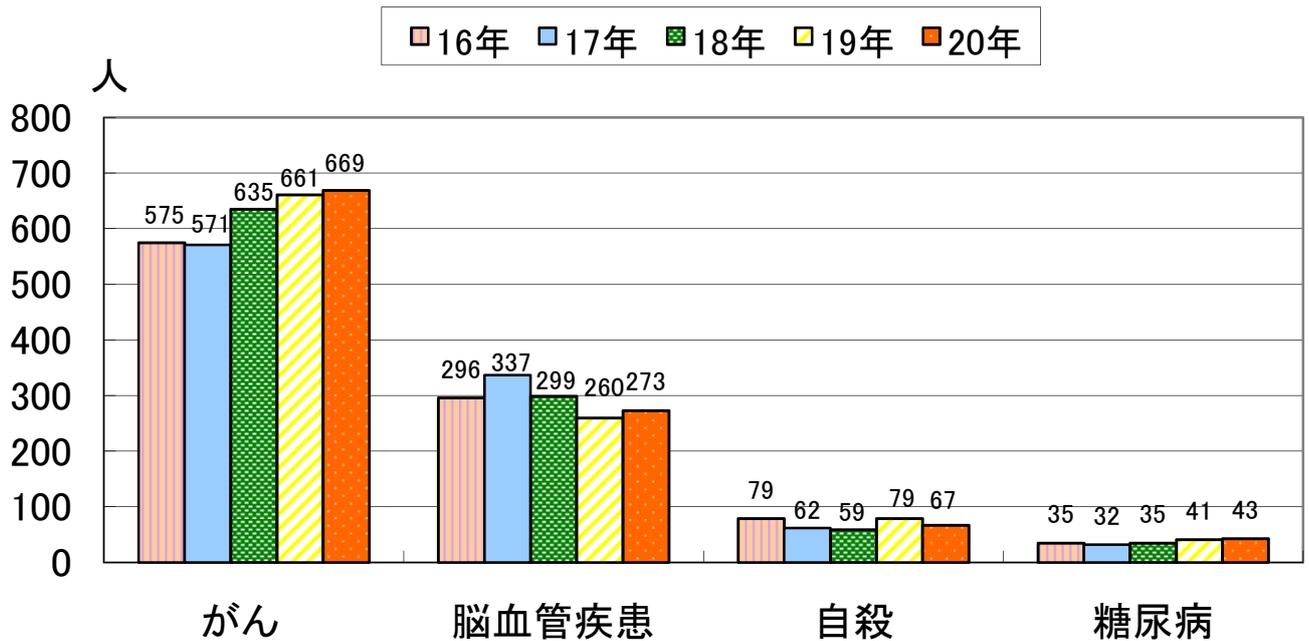
各種がん検診の受診率(女)



主要死因別死亡率(人口10万対)の推移



「健康はちのへ21」計画指標の死因別人数



平成 22 年度八戸市母子保健事業

区分	思春期	結婚	妊娠 母子保健法	出産	3か月	1歳	2歳	3歳	就学時
健康診査			○妊婦委託健康診査		○乳児一般委託健康診査→ 及び精密検診 ○先天性股関節脱臼検診 ○各種予防接種		○1歳6か月児健康診査 及び精密検診	○3歳児健康診査 及び精密検診	○就学時健診
健康教育・健康相談	○思春期教室		○妊娠届出及び母子健康手帳交付 ○マタニティ健康相談 ○電話相談		○乳幼児ハンドブックの交付	○乳幼児健康相談 (赤ちゃん・よちよち健康相談)	○幼児相談	○3歳児相談	
家庭訪問			○両親学級		○こども健康づくり講座 ○子育て支援事業(すくすくサロン等) ○栄養改善事業				
	○妊産婦・新生児訪問指導事業(児童福祉法 こんにちは赤ちゃん事業も兼ねる) ・乳幼児 ・訪問希望者 ・病院等からの継続指導者等								

平成 22 年度八戸市成人保健事業・高齢者保健事業

区分	成人保健事業 20歳～	40歳～ 健康増進法、高齢者医療確保法	高齢者保健事業 65歳～ 介護保険法
健康 診 査	○子宮がん検診（20歳以上） ○乳がん検診（30歳以上） ○骨の健康度健診（30歳～39歳の女性）	○八戸市国保特定健康診査（40歳～74歳） ○健康診査（生活保護等の方）（40歳以上） ○胃がん・肺がん・大腸がん検診（40歳以上） ○前立腺がん検診（50歳以上） ○肝炎ウイルス検診（40歳、特定健診等の結果ALT値が31～60の人） ○骨粗しょう症検診（40・45・50・55・60・65・70歳の女性） ○歯周疾患検診（40・50・60・70歳）	○後期高齢者健康診査（75歳以上） ○結核検診（65歳以上） ○予防接種（高齢者インフルエンザ他）
健康 教 育 ・ 健康 相 談	○食生活改善推進員養成研修会 ○栄養改善事業 ○各地区健康教室・健康相談 ○庁内健康相談（保健師・栄養士による個人相談・電話相談） ○こころの電話相談（保健師による電話相談）	○医師等による健康教室 ・市民健康づくり講座 ・出前健康づくり講座 ・事業における健康教室 ○八戸市国保特定保健指導（40歳～74歳）	○シニア健康生き生き講座 ・医師編 ・歯科医師と歯科衛生士編 ・理学療法士編 ・健康運動指導士と栄養士編 ○認知症予防教室 ○シニア楽楽運動教室
家 庭 訪 問	○健診事後指導 ・ 特定保健指導 ・ 閉じこもり予防 ・ 認知症 ・ 寝たきり者 ・ 介護家族者 ・ 特定高齢者 ・ 病院等からの継続指導者等		
そ の 他	○健康手帳の交付（40歳以上） ○健康づくり推進事業（・「健康はちのへ21」計画 ・ 保健推進員活動 ・ 健康フェスタ ・ 地区の健康づくり事業 ・ わが家の健康カレンダー発行） ○組織活動の育成及び支援（・食生活改善推進員協議会（八栄会）・健康づくり推進協議会・婦人ボランティア「いちいの会」）		

領域別の取組み状況(平成22年度)

：新規事業

領域	取組み	具体例・具体策
1. 栄養・食生活	1. 食事バランスガイド等栄養・食生活に関する正しい知識の普及啓発	・広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市ホームページ、ポスター、ラジオ等で広報
	2. 妊娠期からの栄養・食生活に関する正しい知識の普及啓発	・母子健康手帳交付・マタニティ健康相談、両親学級、家庭訪問における正しい食生活普及
	3. 子どもの食生活に関する正しい知識の普及啓発	・すくすく離乳食教室、乳幼児健康相談、幼児健診(肥満予防)で栄養相談の実施
	4. 生活習慣病予防等の栄養・食生活に関する正しい知識の普及啓発	・特定保健指導・庁内栄養相談における食生活支援、家庭訪問による健診事後指導 ・地区健康教室・保健推進員研修会等での正しい食生活普及 ・健康フェスタでの普及(栄養士会、八栄会)
	5. 食生活改善地区組織の育成	・食生活改善推進員養成研修会の開催 ・食生活改善推進協議会の活動支援
	6. 食育推進協議会及び庁内連絡会議設置による食育推進体制の整備	・食育推進庁内連絡会議の開催 ・健康フェスタにおいて食育協力団体の活動紹介及び「はちのへ食育推進運動」、「食事バランスガイド」の普及
2. 身体活動・運動	1. 身体活動・運動の正しい知識の普及啓発	・広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市ホームページ、ラジオ等で広報
	2. 子どもの運動に関する正しい知識の普及啓発	・乳幼児健康相談、幼児健診での運動の正しい知識の普及啓発
	3. 生活習慣病・介護予防の運動に関する正しい知識の普及啓発	・健康フェスタにて「楽しく続けよう！運動で健康ダイエット」開催 ・健康運動指導士・理学療法士による健康教室、地区健康教室、特定保健指導での運動支援 ・シニア楽楽運動教室の継続支援 ・「せんべい汁体操」の普及 ・「健康スポーツダイエットフォーラム」開催(教育委員会、スポーツ健康課)
	4. 健康づくり推進協議会活動の支援	・健康づくり推進協議会主催のウォーキング会(館上長・南浜)の支援
3. こころの健康づくり	1. うつ病や自殺に対する知識や相談窓口の普及啓発	・広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市ホームページ、ラジオ等で広報 ・「自殺防止フォーラム in はちのへ」開催 1回目：精神科医師等による講演会と、精神保健

領 域	取 組 み	具 体 例 ・ 具 体 策
3. こころの健康づくり	1. うつ病や自殺に対する知識や相談窓口の普及啓発	<p>福祉士による「こころの健康相談」</p> <p>2 回目：県と共催で自殺防止演劇上演、シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うつ予防ポスターを作成。市関係機関、薬局、郵便局、スーパー等約 300 箇所に掲示 ・八戸版自殺予防パンフレットを作成。健康フェスタ、健康教室等で配布。市庁舎受付や関係課に設置 ・メッセージ入りボールペンを作成し、自殺防止フォーラムや健康教室で配布 ・医師による健康教室、地区健康教室・健康相談、保健推進員研修会等での正しい知識の普及
	2. 妊産婦のうつ予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問時に産後うつ病質問票を活用したスクリーニングの実施
	3. 小中学生へのこころの健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期教室 ・いのちをはぐむアドバイザー事業(教育委員会)
	4. 重点地区(是川)におけるこころの健康づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による講演会 ・うつスクリーニングの実施
	5. うつ病に対する相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの電話相談、庁内相談の実施 ・「ワンストップ・サービス・デイ」での心の健康相談(ハローワーク主催) ・「生活と健康をつなぐ法律相談」(県主催) ・自死遺族会開催(県主催)の周知
4. たばこ	1. 喫煙による健康影響や受動喫煙防止対策の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市ホームページ、ラジオ等で広報 ・「世界禁煙デー 2010 記念フォーラム in 八戸」への参加 <ul style="list-style-type: none"> ① 講演・シンポジウムでの発表 ② 禁煙ウォーク参加(禁煙飴とチランの配布) ・医師による健康教室、地区健康教室・健康相談、健康フェスタでの正しい知識の普及(禁煙に関するリーフレットを配布)
	2. 妊産婦等への喫煙に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付・マタニティ健康相談、両親学級、家庭訪問、乳幼児健康相談、幼児健診での支援 ・受動喫煙防止に関するリーフレットを作成し、健診等で配布
	3. 禁煙希望者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導での禁煙支援、庁内健康相談等 ・禁煙外来の情報提供

領 域	取 組 み	具 体 例 ・ 具 体 策
4. たばこ	4. 受動喫煙防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省通知「受動喫煙防止対策の推進」を受けて、全庁内に取組み検討を依頼、同時に活用資料や関連情報について情報提供 市施設の受動喫煙防止対策実施状況調査を実施、実施結果を各課へ報告
5. アルコール	1. 適正飲酒の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> わが家の健康カレンダー、ラジオ等で広報 医師による健康教室、特定保健指導等で普及
	2. 妊産婦等への飲酒に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付・マタニティ健康相談、両親学級、家庭訪問での支援
	3. 相談窓口の周知	<ul style="list-style-type: none"> アルコール依存症等の相談窓口の周知
6. 歯の健康	1. 歯に関する正しい知識や歯周疾患検診の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市ホームページ、ラジオ等で広報 節目年齢の方に歯周疾患検診受診勧奨通知
	2. 妊産婦等への歯に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付・マタニティ健康相談、両親学級、家庭訪問での支援
	3. 子どもの虫歯予防に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> こども健康づくり講座(歯科医師や歯科衛生士)、乳幼児ハンドブック交付時、乳幼児健康相談、幼児健診で普及
	4. 小中学校での虫歯予防に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 歯に関する健康教育の実施(教育委員会)
	5. 生活習慣病・介護予防のための歯に関する正しい知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医師・歯科衛生士による健康教室、地区健康教室等での普及
7. 糖尿病 循環器病 がん	1. 脳血管疾患やがん、糖尿病に対する知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 広報はちのへ、わが家の健康カレンダー、市ホームページ、ラジオ等で広報 医師・薬剤師による健康教室、地区健康教室・健康相談、健康フェスタ等での普及(がん・脳卒中予防等のリーフレットを作成し配布) 乳がん検診の日曜実施(NPO 法人日本乳がんピンクリボン運動主催)
	2. 特定健康診査・特定保健指導、がん検診の受診しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診・がん検診の同時実施、受託医療機関でも実施、送迎バスの配車、通年実施 特定保健指導の日曜開催

領 域	取 組 み	具 体 例 ・ 具 体 策
7. 糖尿病 循環器病 がん	3. 健診について広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・健診だよりの全世帯配布 ・国保特定健診受診勧奨パンフレット送付、節目年齢の方に国保特定健診やがん受診勧奨通知、未受診者への電話や文書での勧奨等 ・婦人がん検診無料クーポン券の送付 ・婦人がん検診・乳がん自己検診パンフレットの設置（市庁舎受付や関係課）、幼児健診時配布 ・健診PRポスターの作成、掲示（市営バス内、公民館、支所、庁舎内他） ・医師による健康教室、地区健康教室・健康相談、健康フェスタ、保健推進員研修会等での普及
	4. 保健推進員による健診受診勧奨の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健推進員のための健診お勧め資料集」作成、配布
	5. 健診事後指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施。対象者への案内通知及び電話勧奨、動機づけ支援の健診当日実施 ・家庭訪問による健診事後指導 ・精密検査未受診者への受診勧奨通知や電話

保健事業における「健康はちのへ21」普及啓発状況

○平成22年度の重点施策と取り組み

- ・脳血管疾患予防
- ・がん予防
- ・自殺予防

		平成20年度		平成21年度		平成22年度 (12月末)	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
健康はちのへ21	0 総合	93	4,453	117	4,821	61	2,012
	1 栄養食生活	158	3,781	411	6,233	274	4,091
	2 身体・運動	115	2,701	175	4,113	82	2,014
	3 こころの健康づくり	66	1,814	105	3,773	53	2,339
	4 たばこ	288	2,720	298	2,818	207	2,124
	5 アルコール	69	813	135	328	87	425
	6 歯の健康	29	809	30	1,289	15	397
	7 糖尿病 循環器病 がん	97	2,832	100	2,649	38	1,269
	計	915	19,923	1,371	26,024	817	14,671

※保健師や栄養士が、住民を対象に実施した健康教育等の保健事業を領域別に集計。